

「形」から入り「心」に至る 独自商品と社員教育の仕組み

心の教育と独自商品力で 年間200社の新規契約

株式会社古田土経営は、「日本中の中小企業を元気にすること」をビジョンに掲げ、国内総企業数の99.7%を占める中小企業を対象に、税金の申告、財務諸表作成、企業経営の支援などを行なう会計事務所である。

代表の古田土満氏は「何のために働くのか、どうせ働くならたくさんの人に喜んでもらえる仕事がいい」という思いから開業した。現在の顧問先数は全国1,780社を超える。しかもここ数年は、営業活動を一切せず、口コミだけで年間150～200社の新規契約があるという。

魅力の一つが、「古田土式月次決算書」だ。これは、従来の決算書の科目を入れ替え、数字が苦手な経営者でも重要なデータを直感的に理解できるよう、グラフや図表を加えて作られたものである。同業の会計事務所からも注目を集めており、その活用方法を自社のノウハウに留めず、セミナーを通じて延べ5,000人もの税理士に伝えてきた。

古田土経営は、自社の社員教育についても工夫がある。一般的な会計事務所では、会計士や税理士の資格を持つ社員がほとんどだが、同社は資格を持たない社員が半数を占める。しかし、資格がなくても、あるいは社歴が浅くても、契約顧客に対して一定品質以上の経営指導ができる仕

組みを築いている。業務に必要な知識の習得はもちろんのこと、話す順序や対応方法に至るまでを教育し、その結果を「見える化」して、レベルやスピードにバラツキが出ないように管理しているのだ。

また同社では、年1回、顧客同士の交流の場「異業種交流会」を無料で開催している。この交流会では毎回100組以上のビジネスマッチングが行なわれ、顧客同士のつながりが広がっている。営業活動は一切せず、顧客紹介によって成長してきた同社。顧客の売上げに直接は貢献できない分、このような形で顧客への感謝の気持ちを表しているという。



暗いイメージのある業界イメージをエネルギーのある明るいものに変えたいという思いから、2014年2月に第一回を開催した「会計事務所甲子園」。

形から入って心に至る 300ページの経営計画書

同社の経営理念やあるべき姿は300ページに及ぶ「経営計画書」にもれなく記載されている。指針レベルにとどまらず、日常の行動が具体的に規定されているのだ。例えば、「あいさつは仕事に優先する」の項目では、たとえ1日20組を超える来客があっても、事務所のドアが開くたび、全社員が一斉に起立してあいさつする。古田土氏は、毎週月曜日には1時間を割り、経営計画書を自ら全社員に解説。「理念の金太郎飴」となるよう全社教育を行なっている。



理念に忠実に作られた経営計画書の発表会。毎週月曜の朝にも約1時間を割いて代表自らが全社員に解説する。



あいさつや掃除などを理念実現のトレーニングと位置付ける。体現する中で、心の学びが得られると考えている。

さらに、勉強会だけでは学びを実践しづらいと考え、先のように、あいさつ・朝礼・掃除などの活動をトレーニングの場と位置付けている。『「形」から入って「心」に至る。「形」ができるようになれば、あとは自然と「心」がついてくる』と氏。「よいことは強制する」という考えだ。地域貢献のために週3回、駅前を掃除することや、年2回、中学校のトイレ掃除を生徒と一緒にやることも明文化されている。このように、日々のあいさつ・朝礼・掃除をはじめとした様々な事柄を義務化し習慣化することで、全社員が一丸となる地固めをしているのだ。その証拠に、これらの理由をどの社員に聞いても「お客さまのために」と同じ言葉が返ってくる。

「あいさつも朝礼も掃除も、最初は決まりとしてやりますが、自分のあいさつがお客さまに元気を与え、感謝されることにつながっていると実感したときに、心から大事なことだと感じられるの



顧客同士のビジネスマッチングの機会となる異業種交流会は毎年開催される。顧客同士の連携が促進されることは、同事務所のビジョンにもつながっている。

です」と、取締役部長の飯島彰仁氏は話す。同社の朝礼には毎日のように見学者が訪れるが、新人社員がマニュアルに沿って滞りなく進行していく様子に、多くの見学者は驚くという。「見学された方から、『まだ1年目なの?』と驚かれます。社員のやる気にもつながっています」と、飯島氏。社員は見学者の見本となるよう、緊張感を持って日々、取り組んでいる。

業界・顧客を巻き込み 会計事務所から日本を元気に

「暗いイメージのある会計事務所業界を変えたい」という思いから、同社は一般社団法人会計事務所甲子園を設立し、2014年2月に「第一回 会計事務所甲子園」を開催した。居酒屋業界で行なわれている「居酒屋甲子園」にヒントを得たもので、5つの会計事務所が壇上でプレゼンテーション

を行ない、会計サービス業に今後一層求められる人間力、支援力に共鳴し合った。

さらに古田土経営は、創業以来31年間利益を出し続けている自社の経営状況を見本にしておうと、経営計画発表会に同業者や顧客を招待。全ての自社経営情報を公開している。中途入社である飯島氏は「前職では考えられないことですので、最初はノウハウを公開することに驚きました。しかし『日本中の中小企業を元気にすること』を考えると、それがよいと納得しました」と話す。

「日本を元気にしたいという考えが広まり、業界が明るくなることで、会計士を目指したいと思う人が増え、さらに日本を元気にしていけたら」と古田土氏。資格を持つ先生としてではなく、志の高い人として脚光を浴びることで、会計事務所業界の雰囲気を変えようと取り組んでいる。

会社概要

- ・法人名：株式会社古田土経営
- ・代表者：古田土 満 所長
- ・所在地：東京都江戸川区西葛西5-4-6
アールズコート302
- ・設立年月：1983年1月

- ・資本金：30,000,000円
- ・ホームページ：<http://www.kodato.com/>
- ・社員数：正規120名、パート・アルバイトなど32名
- ・事業内容：中小企業支援（税務申告業務、月次決算書と経営計画書の作成指導、巡回監査）